

## フロストバイトロードレース、3年ぶりの開催で地元との交流深める Frostbite Road Race reunites neighboring communities

January 24, 2023

By Airman 1st Class Brooklyn Golightly  
374th Airlift Wing Public Affairs

チーム横田は1月22日、基地内のコースを駆け巡る「第42回フロストバイトロードレース」を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で今回は3年ぶりの開催となった。

同レースは1981年に始まって以来多くのファンを集め、現在では日本の全国ランニング大会100選のひとつに数えられている。

第730航空機動中隊旅客サービス下士官責任者でフロストバイトロードレースのイベント・コーディネーターを務めるトビー・ワグナー曹長は、「400人以上の米軍と航空自衛隊のボランティアが、この大会を実現させた」と話し、「3年ぶりに日本の参加者を基地に迎えることができ、コミュニティーがひとつとなって、やっとうしたレースやイベントと一緒に楽しめるようになったことをとても嬉しく思う」と語った。

3年ぶりの同大会には、地元住民や米軍関係者7,000人以上が参加し、また地元の飲食業者等も食べ物などを提供しながら、ランナーの応援に加わった。

第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐は、「こうしたイベントにエントリーし、準備をすることは、真の献身と決意が必要だ」「2kmファミリーラン、2kmキッズラン、5kmマラソン、ハーフマラソンの種目に臨むため、数千人もの日米のランナーが集った」と述べた。

ハーフマラソンでは5,000人以上、2kmキッズランでは1,000人以上、5kmマラソンでは約1,600人のランナーが、寒さに耐えながら走った。

ラダン大佐は、「こうしたイベントは、まさに日米間の友好と協力関係を表している」と述べ、「横田基地と周辺地域との長年培ってきた密接な関係をも物語っている」ともコメントした。

